

◆検証結果の利用にあたっての注意事項等について

(1) 本資料の位置づけ

1. 本資料は、NTT東日本株式会社（以下、「NTT東日本」という。）及びNTT西日本株式会社（以下、「NTT西日本」という。）が提供しているワイヤレス固定電話をご利用されているお客さまに対して、「ワイヤレス固定電話テストベッド環境」において検証を実施されたお客さまの当該検証の一部について、その内容及び結果を公表するものです。
2. 本資料は「ワイヤレス固定電話サービス」においても加入電話で使用している機器が引き続きご利用いただけるかを確認いただくための参考資料です。なお、本資料に記載の検証結果は、検証に使用された通信機器、通信方式、システム、サービス等の品質、性能を評価するものではありません。
3. 本資料に記載の検証結果は、本資料に記載の機器構成における検証結果であり、本資料に記載の無い検証も含めた平均的な結果を示すものではありません。
4. お客さまの利用環境・機器等によっては、ワイヤレス固定電話での通信が不可となる場合もありますので、本資料を参照するのみならず、必要に応じて、NTT東日本又はNTT西日本に検証をお申し込みいただくようお願い致します。
5. 検証における通信可否は、製品製造元が検証したものは製品製造元にて可・否を判断しております。サービス提供会社が検証したものは、サービス提供会社にて可・否を判断しております。また、製品利用ユーザが検証したものは、製品利用ユーザにて可・否を判断しております。

(2) 本資料の取り扱いについての注意事項

1. 本資料の著作権その他一切の権利は、NTT東日本及びNTT西日本に帰属するものとします。
2. 本資料は「ワイヤレス固定電話サービス」においても加入電話で使用している機器が引き続きご利用いただけるかを確認いただくための参考資料であり、その他の目的での利用を禁止します。
3. 本資料の全部又は一部を引用又は転載する場合、出典元として「NTT東日本株式会社 及びNTT西日本株式会社」又は「NTT東日本／NTT西日本」と記載し、本頁の内容も併せて記載してください。
4. 本資料に記載されている通信機器、通信方式、システム、サービス等の名称は、各社の商標又は登録商標です。
5. 本資料の内容は予告なく変更することがあります。
6. 本資料へのお問い合わせについては、NTT東日本又はNTT西日本にご連絡ください。

(3) 本資料の全部又は一部を利用、引用又は転載（以下、「利用等」といいます。）する場合の禁止事項等

1. 本資料の全部又は一部を利用等する場合、利用等する者（以下「利用者等」といいます。）は、以下の行為を行わないことに予め同意するものとします。

1. NTT東日本、NTT西日本、本資料に記載の企業・団体又は第三者に不利益もしくは損害を与える行為、又は、そのおそれのある行為
 2. NTT東日本、NTT西日本及び本資料に記載の企業・団体を誹謗もしくは中傷する行為、又は、そのおそれのある行為
 3. NTT東日本、NTT西日本、本資料に記載の企業・団体又は第三者の権利を侵害する行為、又は、そのおそれのある行為
 4. 第三者に対して、NTT東日本、NTT西日本又は本資料に記載の企業・団体と何らかの提携又は協力関係にあるものとの誤認を生じさせる行為、商品の購入、サービスの利用若しくは何らかの契約締結を推奨しているとの誤認を生じさせる行為、又は、それらのおそれのある行為
 5. 公序良俗又は法令に反する行為、又は、そのおそれのある行為
 6. その他NTT東日本又はNTT西日本が不適切と判断する行為
2. 利用者等が、前項に規定する行為を行っていると思われる場合、NTT東日本及びNTT西日本は、利用者等に対し、その利用等の中止を求めることができるものとし、利用者等は、利用等するに際して、これに応じることに予め同意するものとします。

(4) 免責事項

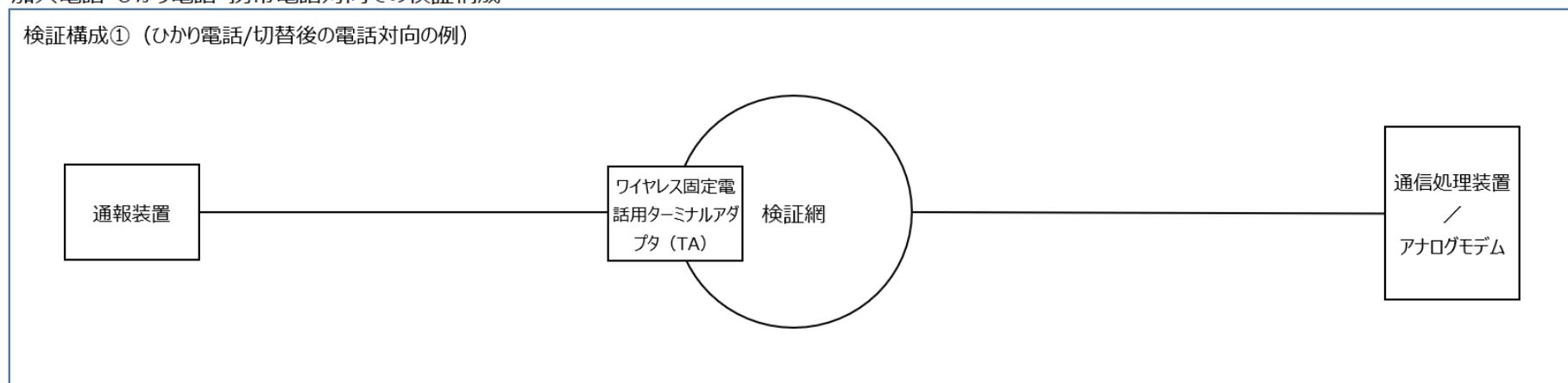
1. 利用者等が本資料の全部又は一部を利用等する場合、それにより生じた損害又は紛争等について、NTT東日本又はNTT西日本は、一切の責任を負わないものとします。
2. NTT東日本及びNTT西日本は、商用で提供している「ワイヤレス固定電話サービス」の環境が本資料に記載の検証を実施した検証環境と同一であることを保証するものではありません。
3. 本資料に記載の検証結果は、NTT東日本及びNTT西日本が商用で提供している「ワイヤレス固定電話サービス」における通信機器、通信方式、システム、サービス等の動作を保証するものではありません。
4. 本資料に記載の検証結果は、商用で提供している「ワイヤレス固定電話サービス」が、本資料に記載の通信機器、通信方式、システム、サービス等の使用において、適合することを保証するものではありません。
5. NTT東日本及びNTT西日本は、本資料に記載の情報の完全性、正確性、安全性、最新性等について、いかなる保証もいたしません。本資料について、これらを欠いた場合であっても、NTT東日本及びNTT西日本は一切の責任を負わないものとします。
6. 当社の責任を全て免責する条項は、NTT東日本及びNTT西日本の故意又は重過失により、利用者等に損害が生じた場合は適用しません。

| | | | |
|--------|-----------------|-----|------------|
| 掲載番号 | 01-26-0001 | 確認日 | 2025年6月30日 |
| 検証実施組織 | 立山科学株式会社 | | |
| 製品名 | TK-800 , MS-LC2 | | |
| 製品製造元 | 立山科学株式会社 | | |
| 製品概要 | 見守り端末（緊急通報装置） | | |

1. 検証機器構成

加入電話・ひかり電話・携帯電話対向での検証構成

検証構成①（ひかり電話/切替後の電話対向の例）



2. 検証概要

1.通信テスト

目的：通報装置通信が正常に行えることを確認する

①通報装置をTAへ接続、対向は通信処理装置およびアナログモデム接続

②↑①間でデータ通信確認（モデム、DTMF）

2.連続稼動テスト

目的：連続稼動時においても正常に動作することを確認する

①12時間程度の連続稼動を行う

3. 検証内容と結果

| No | 検証社名 | 発信側装置・回線 | | 着信側装置・回線 | | 試験回数 | 判定 | 備考 |
|----|----------|------------------|------------|--------------------|----------|------|----|--------|
| | | 発信機器(型番) | 発側回線種別 | 着信機器(型番) | 着側回線種別 | | | |
| 1 | 立山科学株式会社 | 通報装置 (TK-800) | NTTワイヤレス固定 | 通信処理装置 (MS-LC2) | NTTひかり電話 | 100回 | 良 | DTMF方式 |